



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1897回例会 2017年4月27日（木）

卓話 太田歯科医院 太田 直哉先生

テーマ 「お口の中のお話し」 : 担当 会計監査

前例会の記録

第1896回 2017年4月20日（木）

C. アssenブリー 地区研修・協議会報告

: 担当 次期会長・幹事

*ロータリーソング「我等の生業」 斉唱

*会長あいさつ 石原妙生会長

4月になって春らしくなり、各地では祭りや花見等いろいろなイベントが行われています。4月15・16



日の関祭りも心配された雨も止み、祭りのメインとなる行燈神輿も出せた様で良かったですね。

今週の土曜日、4月22日は「アースデイ」で別名、地球の日として提案された記念日です。この日が決められてから、世界中で環境問題に対する関心が高まり、環境保護庁の設置や各種の環境保護法が整備されました。

2009年の国連総会で「国際母なる地球デー」とすることが採択され、翌年から実施されています。

尚、環境問題としては、工業化の進展や自動車の普及に伴う大気汚染や酸性雨、工場排水や生活排水

による水質や土壌汚染等、その他フロンガスや二酸化炭素によるオゾン層の破壊や温暖化、開発に伴う生物への影響等、大きな問題が沢山あります。

我々としては、大きなことは無理でも身近なことで環境に配慮した生活や行動を心掛けたいと思います。ロータリーでも長良川の清掃や森林整備等、環境を良くする活動を行っています。大変良いことなので、もっとPRして多くの市民に知ってもらい、活動の輪が広がる様になると良いですね。

さて、4月16日はRI第2630地区の地区研修・協議会が三重県の伊賀市で行われ、次期会長・幹事を中心とし、各委員長や新入会員を含む12名で出席を致しました。

次年度のRI会長は、オーストラリアの「イアン・ライズリー」という方です。次年度のテーマは「MAKING A DIFFERENCE」＝「変化をもたらす」です。変化とは「地域に対して、クラブに対して、人の人生・自分の人生に対し変化をもたらす」というイメージだそうです。それを受け、2630地区の田山次期ガバナーは「未来を創造しよう」をテー

マとされ、10年後のあるべき姿を常に考えて活動する。ということです。この続きは本日のプログラムで担当の皆さんから詳しく発表頂けます。

*C. A地区研修・協議会報告

・西田健一ロータリー財団委員長

去る4月16日に開催されたRI第2630地区研修・協議会に於いてロータリー財団の分科会についてお話しをさせていただきます。



ロータリー財団には資金推進小委員会、ポリオプラス小委員会、資金管理小委員会、補助金小委員会の4つ小委員会があります。また補助金小委員会の下に地区補助金担当、グローバル補助金担当、奨学・学友担当、職業研修チーム(VTT)担当という組織があり、総勢20名の地区委員がおられ、一番人数の多い委員会だと思います。各小委員長、各担当者の発表がありましたがそこで主だったものを発表します。

今年のロータリー財団の研修テーマを「ロータリー財団の補助金を活用して異議ある奉仕活動を行いましょう」ということで、まず最初に 辻委員長より奉仕は一つの愛情表現です。地域を愛し、人を、人類を愛する表現です。ぜひロータリアンとしての寛容で愛情あふれるお気持ちを奉仕という形で実現していただきますようお願いをいたします。そしてその際は普段のご寄附によって活用できるロータリー財団の資金を活用していただければこの上ないお役立ちだと存じます。と挨拶されました。

◎資金推進小委員会より

今年度財団セミナーを7月と10月に開催する
＜ロータリー財団への寄附＞

- ・年次基金寄附 150\$
- ・使途指定寄附(ポリオ・プラス寄附本年度一人30ドル)

◎ポリオ・プラス小委員会より

＜実施したい重要な事項＞

- 1.ポリオについての情報発信としてポリオを各クラブに啓蒙する
- 2.募金活動の実施 街頭募金、募金箱を設ける
- 3.ポリオプログラムの土台を十分活用する

◎補助金小委員会より

2018～2019年度に実施される事業への申請スケジュール

申請期間 2017年12月1日～2018年1月31日

審査 2018年3月10日頃

審査結果報告 2018年4月10日頃

事業実施期間 2018年7月1日～19年4月末

報告書提出期限 2019年5月10日まで

＜補助金申請の留意点＞

- ①ロータリアンの活動を伴わない金品の寄贈は補助金対象にはならない。
- ②今まで毎年行われている同じような内容の事業や継続事業は対象にならない。
- ③飲食は最低限にして過度な飲食費を伴うプログラムは避ける。
- ④貴重な補助金であるので効率のよいプログラムの検討
- ⑤周年事業そのものだけの事業申請は不可。ただし、地域に困ったことがあったり、地域のためにやらなくてはならない事業がたまたま周年に重なった場合は可。

＜グローバル補助金申請について＞

グローバル補助金の概要

- ・人道的・奉仕プロジェクト(6つの重点分野)
- ・奨学金→グローバル奨学金
- ・職業研修チーム(VTT)

グローバル補助金とは

- ・海外のロータリークラブと協同で奉仕・人道的プロジェクトをする場合に申請できる。

- ・事業予算は3万ドル以上

人道的プログラム重点分野

- ・平和と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛星
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

以上発表を終わりますが、関中央RCが補助金を申請するとすれば、今から次年度の計画を立て12月までに申請しなければなりません。ぜひ活用してより

よいプログラムを考えて頂きたいと思います。

・加納淳至会員

職業奉仕部門、奉仕プロジェクト部門に参加して参りました。

<次期職業奉仕部門委員長>

山本和彦委員長

<次期職業奉仕委員会委員>

原尾 勝委員、桃井 力生委員、浦田 幸一委員、管内章夫委員

<次期アドバイザー> 岩田勝美アドバイザー

以上 6 名の職業奉仕部門による進行で始まりました。特徴ある職業奉仕の実践報告発表があり、岐阜RC、津RC、中津川RCの3クラブが発表致しました。

まず、岐阜RCの小川次期職業奉仕委員長から発表でした。岐阜RCでは、

- 1.毎回例会で4つのテストの唱和を行っている。
- 2.4つのテストの物語ぬりえを年間4~5万部作成し、奨学生に配布している。
- 3.奨学金を恵まれない家庭の中学生・高校生に支給している。
- 4.会員の事業所の新入社員やロータリークラブの新入会員に4つのテストに関する説明や講話を行っており、テーブルマナー教室も行っている。

と現状報告がありました。今後はぬりえの利用状況や、奨学金制度を利用した生徒の、社会に出てからの現在の状況を調査していく事になっているそうです。

次に津RCの倉田次期職業奉仕委員長の発表でした。津RCは年間1~2回職場訪問を行っている。銀行の新ビル、中部電力変電所、工作機械を製造している会社、岐阜県警本部、赤十字センター、岐阜刑務所等訪問の際、職場で成績の良い人を表彰したりしている。訪問の目的は職場訪問し、自己の職業を改めて自覚することだそうです。あと、例会場以外の外に出ることで、例会だけのマンネリをなくす効果もあるそうです。

次に中津川RCの佐藤次期職業奉仕委員長の発表でした。中津川RCでは、出前講座なるものを過去11年間実施しており、延べ90人のクラブ会員が講師として地元の中学校の講座に出向いているそうで

す。

出前講座が始まったきっかけは、生徒たちからの手紙がきっかけだったそうです。社会には数多くの職業があり、趣味、適正、憧れ等から進路を選択していくのですが、外から見るだけでは、その職業のやりがい、楽しさを知ることは難しく、実際に携わっている人から話を聞く場を設けてほしいと要望があったそうです。そこでクラブ会員が自分の職業について講義することにし、出前講座を開くことになったそうです。

中津川市でも、若者に地元の会社を知ってもらい、地元での就職をしてもらいたいとのことで活動の趣旨が一致し、市、地元の学校と連携して11年間活動し続けているそうです。講座は、製造、販売、建設、金融の4つの職業で実施しているそうで、講座終了後には、生徒から色々な声も聴くことが出来ているそうです。

製造業は、作るだけでなく、営業、在庫調整、材料調達、製品品質、輸送、経理など、多くの分野で仕事をしている人がいることが分かった。どんな仕事にもやりがいがあるから、それが分かるまで我慢して仕事を続けることも大切だと分かった。

建設業では、力仕事ばかりと思っていました。コンピューターを使う場面もあり建設業の見方が変わった。さまざまな建設会社から、自分にあった仕事を見つけることや、その仕事をするために、色々な資格がないと駄目なことも分かった。父が建設の仕事をしているので、知っていることばかりだと思っていましたが、知らないことが多く話を聞いてとても勉強になりました。金融業について、基本的に難しくなくちゃんとした教養があればできる仕事だと分かって良かった。お客様の相談に乗って解決策を生み出していくことや、お客さんがどんどんよくなっていくことが一番の喜びだとわかった。以上のような言葉を頂くことができて、この事業をやってよかったとの発表でした。

3つのクラブではそれぞれのクラブが地域との連携をしながら活動し、活動の場を広げながら、長い間活動していることがすばらしいと思いました。中学生・高校生が地元の会社を見学し、多くの職場



で、実際の現場、生の話を聞く機会ができれば、今以上に自分の将来に生かしてもらえないのではないか、見学先の会社の人たちも、外の人、子供たちに見られることで、いつもと違った気持ちがあるのではないかと思います。それがきっかけとなり、相乗効果が生まれるといいなと思いました。

知り合いが、小学生対象にテーブルマナー教室をやっています。PTAの方々と協力し、小さいころからマナーを身につけてほしいとの思いからです。これからの社会世界のどんな場で活躍する機会があるかわかりません。若い人たちにマナーを学ぶ機会が有っても良いなと感じました。私も高校時代テーブルマナーを学校の授業として学びました。今でも一回だけの経験でしたが生かしています。良い経験だったと思っています。最後に岩田勝美アドバイザーより職業奉仕をしているクラブは少なく、もっと大々的に奉仕活動をして欲しい。外の職業を知る前にクラブ内で、お互いの職業を知り合う事をしてほしい。とのお言葉がありました。そして、“職業奉仕を通じて、個々の哲学を磨いていただきたい”と言われた事が心に残りました。

・石原妙生会長

会員増強部門分科会報告

<カウンセラー>

村橋パストガバナー

<アドバイザー>

堀場委員長、岡田・中村委員

1. 委員長の挨拶

会員増強は「最重要課題」である！2630 地区の現会員数の現状は4月の時点で3,150名(その内女性会員は約4%である)今年度の期首から78名増だが、6月が問題で注意したいし維持に努めてもらいたい。2年前より会員が増加傾向にあり、現在の1クラブ平均会員数は39名です。尚、地区の過去最大は5,120名であった。

2. 村橋パストガバナーの話

会員増強について、「入会して良かった」と思われるクラブになること！

あまり難しいことは考えず、明るく・楽しい奉仕の実践で未来のあるクラブを目指す。未来あるク



ラブは発展・成長すると言われました。

又、クラブの健康チェックを行う。

※活動が地域に密着しているか、又理解されているか、又理念や哲学に走りすぎていないか確認する。

(まとめ)

「明るく楽しい奉仕」

活動が重く感じては問題である。哲学や理念では人は集まらない。

「尊敬されるリーダー」

CLPはクラブのリーダーを育てるプランで参考にしてほしい。良き先輩のいるクラブは良き会員が集まる。

「柔軟性のあるクラブ」

規定審議会の中身の変更により、各クラブで柔軟に取り組む事が出来る。

(目標) 1.純増 3% (関中央1名)

2.会員の若返り (若い会員を入れる)

3.女性会員 5%以上

(座右の銘の言葉)

「一燈を掲げて暗夜を行く。」

暗夜を憂うる事勿れ。只だ一燈を頼め
どんな人間であれ、前の見えない道を歩む時、不安に感じるものである。そんな時、心の中に一つの灯があると非常に心強い。また、灯は暗闇において、自分の歩むべき道を照らしてくれるのに役立つものだ。(佐藤一斎の言葉)

・波多野好文次期会長

ロータリークラブで一番偉い方はR I会長ですが、その次に偉い方はガバナーです。ガバナーは特別な教育を受けてみえますが、ガバナーだけで、地区の全クラブを見渡すことはできないため、その役割を補佐するのがガバナー補佐です。前例はありませんが、3年連続でガバナー補佐はできるそうです。次期は8月22日にガバナー公式訪問があります。



また、ガバナー補佐の他に、CCという地区委員の方がいらっしやいます。当クラブでは現在地区委員をされていらっしやる方はみえませんが、各クラ

ブ地区委員を一人出してほしいということでした。
IMの開催についてですが、次期のIMはテーマが
決められていますので、それに沿って開催してほし
いそうです。

会長は会員の増強を取り組んでほしいということ
でした。またロータリーの基本は「ロータリーの友」
だということで読んで頂きたいとのことでした。

***出席委員会**

会員数32名、本日の出席17名です。

***ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

本日はC. アッセンブリー 地区研修・協議会報告
の西田会員、加納会員、石原会長、波多野次期会長、
報告よろしくお願いします。

・波多野好文君

先日の地区研修・協議会出席の皆様 大変ご苦労様
でした。発表の方 よろしくをお願いします。

17名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

・「地区大会記録誌」を配布しました

***メイクアップ報告**

4/15 長良川環境巡視活動開始式 神谷秀幸君

4/16 地区研修・協議会

波多野好文君、長谷川修君、波多野篤志君、小川糧
司君、石原妙生君、川上勉君、喜久生明男君、吉田
和也君、神谷秀幸君、西田健一君、加納淳至君、伊
佐地司君

<次例会の案内>

第1898回 2017年5月11日(木)

卓話 関商工会議所 青年部 会長 金子正剛様
テーマ 「仲間に感謝 仲間と感動」

担当：青少年育成委員会